




移動編



通勤・通学・買い物・旅行などの日々の移動には、状況に応じた**エコな移動手段**を選びましょう。
CO₂の排出量が少ない電車やバスなどの**公共交通機関**のほか、CO₂を全く排出しない**徒歩や自転車**での移動を選びましょう。**自動車**で移動するときには、**エコドライブ**に取り組むことで燃料使用量やCO₂排出量を減らすことができます。

 自動車	穏やかにアクセルを踏んで発進する。 発進時、5秒間で20km/h程度の加速を意識した場合	 CO ₂ 削減量 (年間)	194.1kg	 節約金額 (年間)	約13,814円
	加減速を少なめにし、一定の速度で走行する。		68.0kg		約4,841円
	停止時には、早めにアクセルを離す。		42.0kg		約2,990円
	アイドリングストップに取り組む。		40.2kg		約2,864円

はこだて エコライフのすすめIV

～「ゼロカーボンシティはこだて」をめざして～

わたしたちは、暮らしや社会の中で電気や石油、ガスなど多くのエネルギーを使っており、知らず知らずのうちに二酸化炭素などの温室効果ガスを排出しています。

近年、温室効果ガスの増加により、地球の平均気温が上昇する「地球温暖化」が進んでおり、大雨の頻度や災害、熱中症のリスクが増加するなど、世界的な問題となっています。

函館市では、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロ*にする「ゼロカーボンシティはこだて」の実現をめざしており、そのためには、市民の皆さんが日常生活の中で、できることから脱炭素型のライフスタイルに転換していくことが大切です。

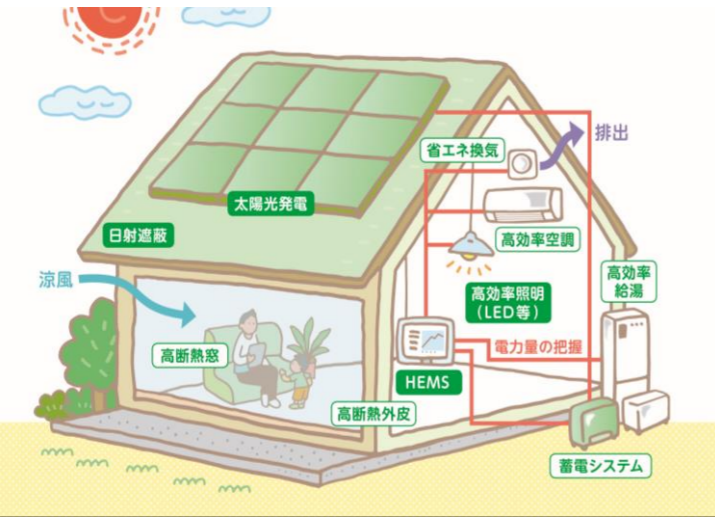
このリーフレットは、今からできるエコな取組例を二酸化炭素排出の削減量と光熱費の節約効果と合わせて紹介しています。エネルギーを賢く使い、健康で快適に暮らし続けられるエコなまちを一緒にめざしましょう。

*実質ゼロとは、温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引き、実質的にゼロにすることです。

地球にやさしい建物のかたち

ゼッチ ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）とは、大幅な省エネルギーを実現した上で、太陽光発電等を導入することにより、年間で消費する住宅のエネルギーを実質ゼロとすることをめざした住宅です。新築の際は、ZEHを検討してみませんか。

- ★ZEHがもたらす主なメリット
- ①経済性
高い断熱性能や高効率設備の利用により、光熱費を下げることができる。
 - ②快適・健康性
夏は涼しく冬は暖かい快適な室内環境になる。
 - ③レジリエンス
停電時において、太陽光発電や蓄電池の活用で、非常時でも安心な生活ができる。



ZEHのイメージ
出典)「資源エネルギー庁ウェブサイト」

太陽光パネルを設置できないご家庭でも「再生可能エネルギー電力」に切り替えることで、CO₂を排出しない電力を利用できます。



2050年の函館市のイメージ

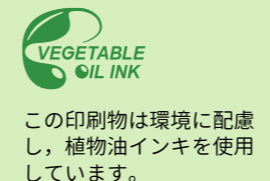
環境にやさしい自動車

次世代自動車は、大気汚染物質の排出が少ない、または全く排出しない、従来型のガソリン車と比べて約2倍程度燃費性能が優れているなどの環境にやさしい自動車です。
自動車を購入する時は、電気自動車(EV)、燃料電池自動車(FCV)、プラグインハイブリッド自動車(PHEV)、ハイブリッド自動車(HV)などの次世代自動車を選びましょう。

家電を選ぶときのワンポイント




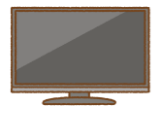





「統一省エネラベル」は、年間の目安電気料金等の省エネ性能を分かりやすく表示しています。
家庭で使われるエネルギー中でも、電気は省エネ対策の大きなポイントとなります。買い換え時には省エネ性能を比べてみませんか。

統一省エネラベル
出典)「省エネ型製品情報サイト」(資源エネルギー庁)








はこだてエコライフの取組














リビング編

 照明	LED照明に交換する。 白熱電球（54W）5個をLED電球（9W）に交換	 CO ₂ 削減量 (年間)	203.9kg	 節約金額 (年間)	約16,800円
	照明の点灯時間を短くする。 白熱電球（54W）5個の点灯時間を1日1時間短縮した場合		44.6kg		約3,660円
 テレビ	テレビを見ていないときには消す。 1日1時間見る時間を短縮した場合（液晶32V型）	 CO ₂ 削減量 (年間)	7.6kg	 節約金額 (年間)	約624円
	画面を明るすぎないようにする。 画面の照度を最適（最大から中間）にする（液晶32V型）		12.3kg		約1,008円
 冷暖房	夏はエアコンの温度を無理のない範囲で少し上げる。 エアコン（冷房）の設定温度を27℃から28℃にした場合	 CO ₂ 削減量 (年間)	13.7kg	 節約金額 (年間)	約1,128円
	冬は暖房の温度を無理のない範囲で少し下げる。 暖房の設定温度を22℃から20℃にした場合（石油セントラル暖房／19時間使用）		518.8kg		約24,874円
	冷暖房は必要な時だけつける。 エアコン、FF式石油ストーブの運転時間を1日1時間減らした場合		冷房 8.5kg 暖房 24.4kg		冷房 約696円 暖房 約1,169円

お風呂・掃除・洗濯・トイレ編

 お風呂	入浴は時間をあけずつぎつぎ入る。 2時間放置したあと追い炊きをする場合との比較	 CO ₂ 削減量 (年間)	108.7kg	 節約金額 (年間)	約5,138円
	シャワーを流しっぱなしにしない。 シャワーのお湯を流す時間を1分間短縮した場合		46.4kg		約3,512円
 掃除機	部屋を片付けてから、掃除機をかける。 利用する時間を1日1分間短縮した場合	 CO ₂ 削減量 (年間)	2.5kg	 節約金額 (年間)	約192円
	パック式は適宜取り替える。 パックいっぱいにごみが詰まった状態と、未使用のパックの比較		0.7kg		約48円

キッチン編

 冷蔵庫	ものを詰め込みすぎない。 ものを一杯に詰め込んだ場合と、半分にした場合との比較	 CO ₂ 削減量 (年間)	19.9kg	 節約金額 (年間)	約1,632円
	設定温度を調整する。 周囲温度22℃で、設定温度を「強」から「中」にした場合		28.0kg		約2,304円
 電子レンジ	食材の下ごしらえに電子レンジを利用する。 100gの食材を、ガスコンロで下ゆでした場合と、電子レンジで下ごしらえした場合の比較	 CO ₂ 削減量 (年間)	12.6kg	 節約金額 (年間)	約1,135円
 電気ポット	長時間使わない時には、電源プラグを抜く。 ポットに満タンの水2.2ℓを入れ沸騰させ、1.2ℓを使用後、6時間保温した場合と、プラグを抜いて保温しないで再沸騰させて使用した場合の比較	 CO ₂ 削減量 (年間)	48.7kg	 節約金額 (年間)	約4,008円
 ジャー炊飯器	長時間使わない時には、電源プラグを抜く。 1日に7時間保温し、プラグをコンセントに差し込んだままの場合と、保温せずにコンセントから抜いた場合の比較	 CO ₂ 削減量 (年間)	20.7kg	 節約金額 (年間)	約1,704円
 湯沸かし器	食器を洗うときには、低温に設定する。 65ℓの水（20℃）を使い、小型ガス給湯器の設定温度を40℃から38℃にし、1日2回手洗いした場合（冷房期間を除く）	 CO ₂ 削減量 (年間)	16.8kg	 節約金額 (年間)	約1,507円

 洗濯機	まとめ洗いをする。 定格容量の4割で毎日洗う場合と、8割で2日に1回洗う場合との比較	 CO ₂ 削減量 (年間)	2.7kg	 節約金額 (年間)	約5,135円
 トイレ (温水洗浄便座)	使わないときは、フタを閉める。 フタを閉めた場合と、開けっ放しの場合との比較（貯湯式）	 CO ₂ 削減量 (年間)	15.8kg	 節約金額 (年間)	約1,296円
	便座暖房は低温に設定する。 便座の設定温度を「中」から「弱」にした場合（貯湯式）		12.0kg		約984円
	洗浄水を低温に設定する。 洗浄水の設定温度を「中」から「弱」にした場合（貯湯式）		6.3kg		約504円

出典 「実践！おうちで省エネ」（経済産業省北海道経済産業局）
※CO₂削減量は出典のエネルギー使用量を用いて算出した値です。